

令和3年9月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃より PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号のご案内とともに、日本国内委員会よりお知らせさせていただきます。最新号の特集は、「道路のレジリエンス」です。自然災害リスクの高い日本でも特に重要なテーマであると昨今認識されているトピックです。本号では道路ネットワークやトンネルのレジリエンスに関する欧米等諸外国の取り組みが紹介されています。皆様の業務の参考になれば幸いです。ぜひご一読ください。

1. ROUTES/ROADS 最新号 (389号)



【特集】道路のレジリエンス

【今号の発行にあたって】

今サイクル（2020-2023）の PIARC 戦略計画において、「道路のレジリエンス」は様々な分野に跨る横断的課題として取り上げられ、国際的にも現在注目されているトピックの一つです。来年の PIARC カルガリー冬期大会においては、「冬期サービス」に加え、

「レジリエンス」が技術テーマとして据えられ、気候変動や自然災害等様々な脅威に対する道路のレジリエンス、道路ネットワークや道路構造物のレジリエンスに関するセッションが設けられる予定です。

巻頭記事では、ヴァンルーテン PIARC 会長が道路のレジリエンスについて以下のとおり触れています（以下要約）。

コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により多くの国が経済的な打撃を受けている中、新たな雇用を生みかつ経済を復興させるべく景気刺激策が講じられているところです。交通セクターへの投資もその一環として実施されており、そこにはレジリエンスに関するプロジェクトも含まれています。PIARC としても、道路のレジリエンスに注視し、各国の交通体系維持を支援していくことが重要であると考えています。今後の道路を取り巻く環境は未だ不確実な状況ですが、PIARC はレポート、セミナー等通じて、継続的に様々な知見を共有していく予定です。

2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ PIARC 活動報告 -8 頁
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介 -13 頁
- 【今号の特集】
- ✓ レジリエンスとアセットマネジメント -19 頁
- ✓ 道路ネットワークのレジリエンスの改善-枠組 -23 頁
- ✓ 道路ネットワークのレジリエンスの改善-ケーススタディ -30 頁
- ✓ トロント市における洪水レジリエンス戦略 -38 頁
- ✓ 道路ネットワークのレジリエンス：マクロ経済への影響を抑制する橋梁耐震補強の予防保全アプローチ -41 頁
- ✓ レジリエンスへのアプローチ：米国の事例 -46 頁
- ✓ BIM プラットフォームで一元化されたモニタリングデータを活用したトンネルレジリエンスの強化 -49 頁
- ✓ インフラのレジリエンス強化を目的としたジオシンセテ

ィックスの活用

-53 頁

- ✓ 道路アセットマネジメント：各道路ネットワークにおける異なるアプローチ

-56 頁

3. PIARC テクニカルレポートのご紹介

【レポート名】

道路関連データとその活用方法

【レポート概要】

道路インフラ管理のあり方はここ 10 年間で大きな変化を遂げており、主な変化の理由として道路利用者の求めるレベルの向上、道路構造物の劣化進行など挙げられます。これらに対処すべく、昨今新たな技術やサービスが開発され、より最適な道路関連のデータ収集や分析が可能となりました。結果、道路管理者は道路ネットワークの適切な維持・管理のもと、道路利用者により円滑な交通を提供ができるようになっていきます。本レポートでは、道路関連データの活用について既存の文献を調査、関連ステークホルダーへのアンケート調査を実施、あわせてデータ活用にかかるビジネスモデルを提案しています。また道路管理者が体系的にアクションプランを策定できるよう、20 の提言をとりまとめていますので、業務の参考になれば幸いです。



PIARC ウェブサイト レポート紹介ページ ⇒



【レポート名】

持続可能な社会及び経済発展への道路交通の貢献

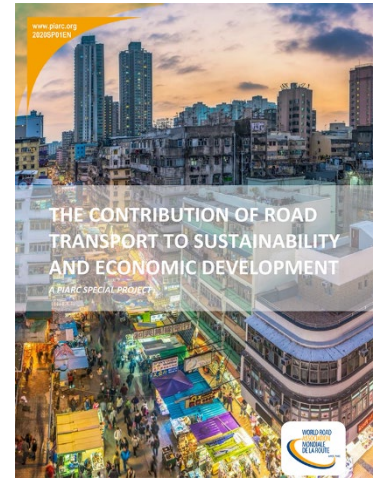
【レポート概要】

道路交通と道路インフラは現代社会の繁栄に必要な不可欠な要素であり、安全かつ効率的な方法で人と場所、モノとサービスをつなぐことで社会や経済全体の持続可能で包括的な成長を生み出しています。道路インフラへの投資は、貿易や経済を強化・改善

する手段としてだけでなく、異文化への理解を深めるなど様々な事象へ影響を及ぼす費用対効果の高いものといえます。本レポートでは、道路交通がどのように持続可能な社会や経済発展に貢献しているかについて

て、既存の文献や研究、また道路交通に関わるステークホルダーへのインタビューを通じて得られた知見をとりまとめています。業務の参考になれば幸いです。

PIARC ウェブサイト レポート紹介ページ ⇒



4. 第 16 回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会（カルガリー冬期大会）

第 16 回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会（通称：カルガリー冬期大会）は、2022 年 2 月 7 日から 11 日の間、完全バーチャル形式にて開催されます。

論文募集については、日本から 31 編の本論文が提出されました。今後 PIARC による論文審査が行われ、11 月 1 日に採択結果が著者宛に通知される予定です。本論文の提出をいただいた皆様、どうもありがとうございました。

今後、大会プログラムの詳細や大会申し込みの開始などの情報が公開され次第、道路協会ウェブサイトにてご案内いたします ⇒



PIARC の活動に関するご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 安藤: ando@road.or.jp
PIARC 本部事務局 武内: jun.takeuchi@piarc.org